

営農ウィークリーNEWS

竹林でのノメイガ類の発生に注意してください!!!



▲ 羽化したキモンソバノメイガ



▲ 繭に入った幼虫の塊



▲ 羽化したキモンソバノメイガ



▲ 確認する技術顧問

近年、京都市西京区、伏見区、長岡京市の竹林において、外来種であるシナチクノメイガなどのノメイガ類による被害が多発しています。

今年の2月に長岡京市の竹林において、ノメイガ類と思われる繭に入った幼虫を捕獲し、JAで保管していました。

5月11日に、確認したところ、多数羽化しているのを確認しました。

このことから、管内竹林において、越冬した幼虫

が羽化し始めて被害をもたらし始めていると思われます。

今回、羽化したノメイガ類は、全てキモンソバノメイガでした。

生産者の皆様におかれましては、竹林内の葉の変色や食害痕、幼虫の発生状況などをこまめに確認していただき、被害を発見した場合は早期防除を実施していただきますようお願いいたします。

TAC information

植物防疫法第29条第1項に基づき シナチクノメイガに使用できる防除薬剤の紹介



現在、シナチクノメイガに登録のある農薬はありませんが、植物防疫法（昭和25年法律第151号）第29条第1項に基づき都道府県が行う防疫措置として、タケ類（たけのこを収穫するもの）のシナチクノメイガに対する防除には、当面の間、「エスマルクDF」を使用することができます。

農薬の登録内容（適用病害虫以外の希釈倍数、使用液量、使用回数等）を遵守することで、出荷停止等、流通に支障が生じることはありません。

なお、植物防疫法第29条第1項に基づく措置が終了した場合には、文書及び京都府病害虫防除所のホームページ等でお知らせされますので、最新の情報を確認してください。

2026年度京都府春季花き品評会



▲ 「バラ(ジュミリアSP)」



▲ 「ベゴニア(スプリント)」



▲ 「千鳥草」



5月13日 京都市花き地方卸売市場にて、京都府花き生産組合連合会主催による、2026年度京都府春季花き品評会が開催されました。

当日は、府内各地から切花・枝物、鉢物・苗物が多数出品されました。

JA 京都中央管内の受賞者は、下記の通りです。おめでとうございます！

▽京都市長賞・丹本雅治さん（洛南）・「バラ（ジュミリア SP）」

▽京都市長賞・原田亮平さん（向島）・「ベゴニア（スプリント）」

▽京都市花き振興協会賞・佐々木卓さん（洛南）・「千鳥草」